

支援プログラム

事業所名

ちいさな森・ちいさな森PLUS

作成日

2024 年 9 月 11 日

法人（事業所）理念		子どもたちと家族並びに地域との架け橋になる場所である事により、職員及職員家族を通して地域社会に貢献する。					
支援方針		自立した社会生活を営む為に一人一人の個性に合わせてチャレンジ、ビジョントレーニング及び楽器や運動による療育、並びに集団活動を通じて総合的な社会能力の向上を目指す。					
営業時間		9 時 00 分	から	18 時 00 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	1日の流れを決め支援する事により、就学や就業したときの生活リズムの安定、定期的な促しから習慣的な行動や社会生活を営むことを目指し支援する。					
	運動・感覚	マット運動、トランポリン及びサーキット運動などにより体幹を鍛え、ビジョントレーニングや楽器を使いリズム感を養い、工作や玩具遊びで指先を使う事を覚え私生活に活用する事を目指す。					
	認知・行動	朝の会などによる日時、天候及び数など把握並びに教材、教具及び玩具などを用いての空間把握と認知形成。小集団活動による行動形成。戸外活動などによる感性形成などを促して行く。					
	言語コミュニケーション	絵本の読み聞かせや職員のサポート時などの「声かけ」による言葉の理解力向上に合わせ、「あいさつ」などの習慣性を目指し支援する。子供の特性に応じ絵カードなどのツールを活用する事でコミュニケーションを取り、必要な支援をする事により日常生活能力の向上とコミュニケーション能力の向上を目指す。					
	人間関係社会性	一人遊び、二人遊びから集団遊びへと対応して遊び及び活動が出来ること、戸外活動などで公共施設の見学、体験を通し社会ルールを肌で感じてもらい社会生活を営むスキルを身に付けて貰うことを目指す。					
家族支援		連絡帳などを活用した保護者との情報共有。定期的なモニタリング及び面談により保護者などのケアにも心がける。		移行支援		保育園、幼稚園、学校と連絡を取り情報の共有及び伝達を目指す。	
地域支援・地域連携		所属地域の相談室、保健所及び専門機関(発達センター等)と定期的な連絡を取り情報共有や相談、助言等の連帯を図る。		職員の質の向上		職員間での情報交換、外部研修受講、外部研修受講者による社内研修などを活かすスキルアップに心がける。	
主な行事等		春(花見、公園遊び開始、避難訓練)、夏(夏祭り、水遊び、七夕)、秋(ぶどう狩り、避難訓練)、冬(クリスマス、節分、雪遊び)					